グループホーム必要数の調査

調査報告

令和5年（2023年）7月
吹田市

目次

１　趣旨……1

２　対象者……1

３　調査方法……1

４　回答方法……1

５　調査期間……1

６　回答率……1

７　調査内容……1

グループホーム必要数の調査 集計結果　……２～５

総評 ……5

＜参考資料＞

１　自由記載の内容……6

グループホーム必要数の調査　集計結果

１　趣旨

　吹田市内の日中活動支援事業所を利用する方に関し、今後のグループホームの利用ニーズを把握することで、第７期吹田市障がい福祉計画の期間である令和６年度から令和８年度の３年間における、グループホームの整備必要数を算出するもの。

２　対象者

　６５歳未満の日中活動系サービス事業所を利用する方
（生活介護、就労継続支援A型・B型、就労移行支援、生活訓練）

３　調査方法

　各事業所に調査票を送付し利用者に配付及び回収

４　回答方法

　回収した調査票を障がい福祉室に送付

５　調査期間

　令和５年３月３１日（金）から令和５年４月２８日（金）まで

６　回答率

87.25%

（回答数1,081件／日中活動系サービス利用者数 1,239人）

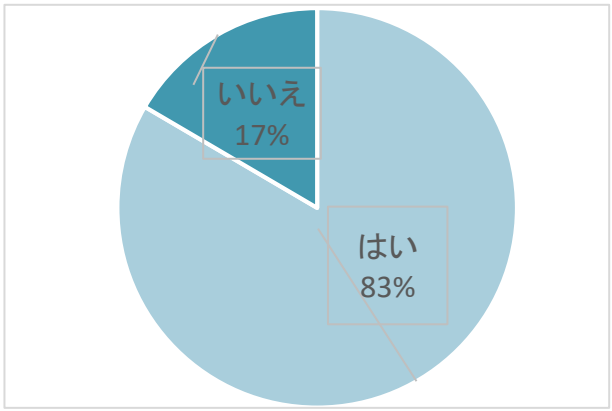
７　調査内容

（１）　吹田市に居住していますか
（２）　グループホームへの入居の希望について
（３）　年齢
（４）　性別
（５）　障がい種別
（６）　障害支援区分
（７）　医療的ケアの要否
（８）　強度行動障がいの有無
（９）　入居を希望する時期

令和5年度 グループホーム必要数の調査　集計結果

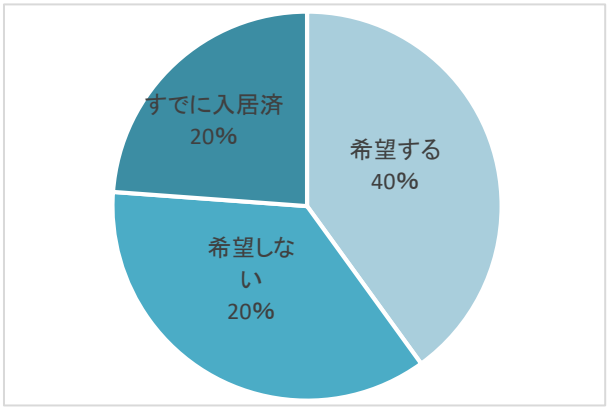
回答数　1081件
回答率（回答数/定員）
63.2%（1081人/1710人）

1. 吹田市居住



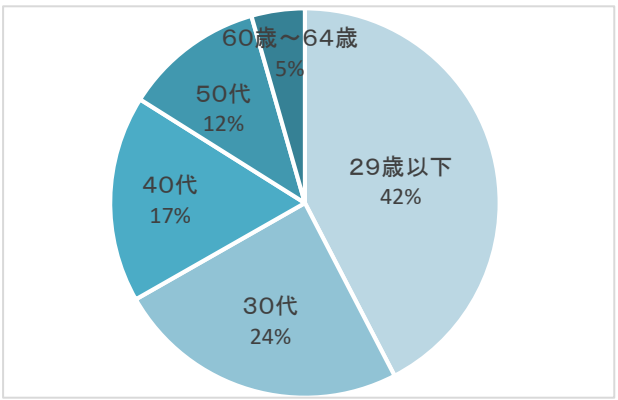
はい	902
いいえ	179
合計	1081

2. GH入居希望



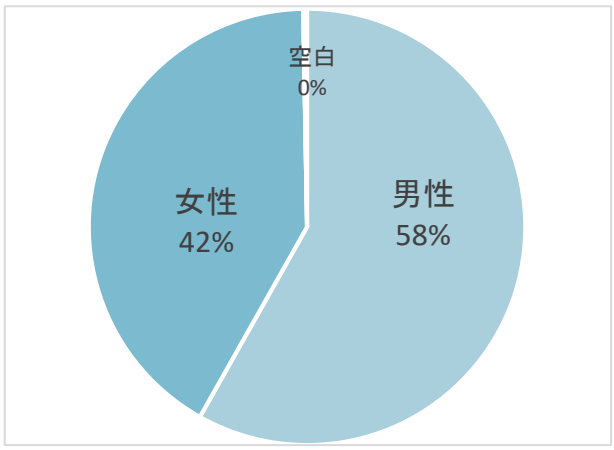
希望する	361
希望しない	326
すでに入居済	215
合計	902

3. 年齢



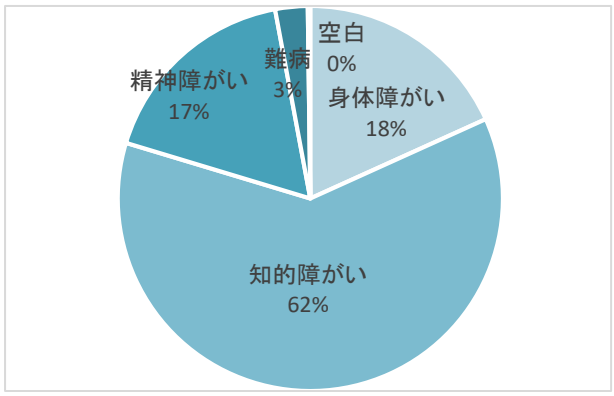
29歳以下	153
30代	88
40代	62
50代	42
60歳～64歳	16
合計	361

4. 性別



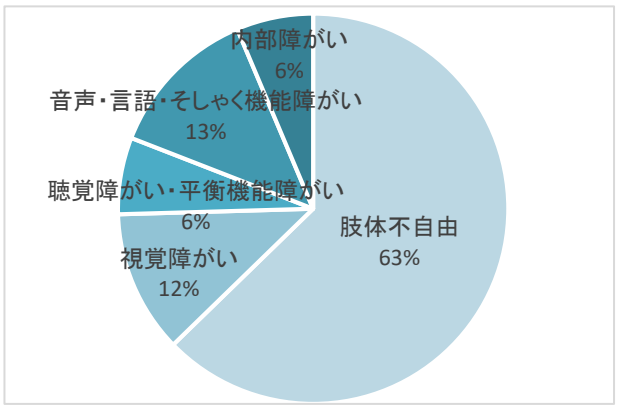
男性	210
女性	150
その他	0
空白	1
合計	361

5. 障がい種別（複数回答）



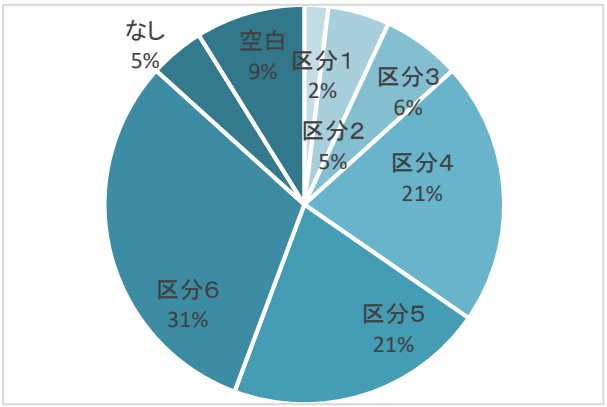
身体障がい	87
知的障がい	293
精神障がい	83
難病	13
空白	1
合計	477

身体障がい内訳



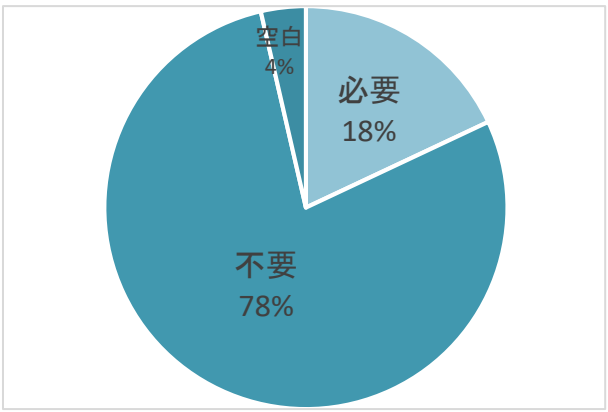
肢体不自由	69
視覚障がい	13
聴覚障がい・平衡機能障がい	7
音声・言語・そしゃく機能障がい	14
内部障がい	7
合計	110

6. 障害支援区分



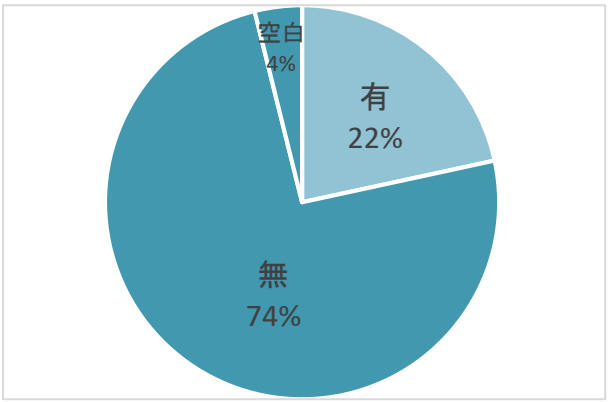
区分1	7
区分2	18
区分3	23
区分4	77
区分5	76
区分6	112
なし	16
空白	32
合計	361

7. 医療的ケアの要否



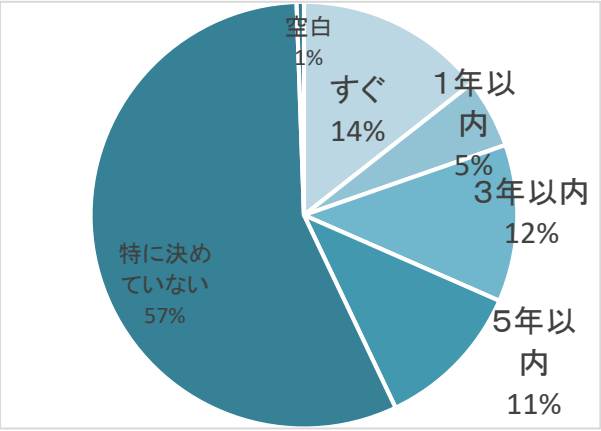
必要	65
不要	283
空白	13
合計	361

8. 強度行動障がいの有無



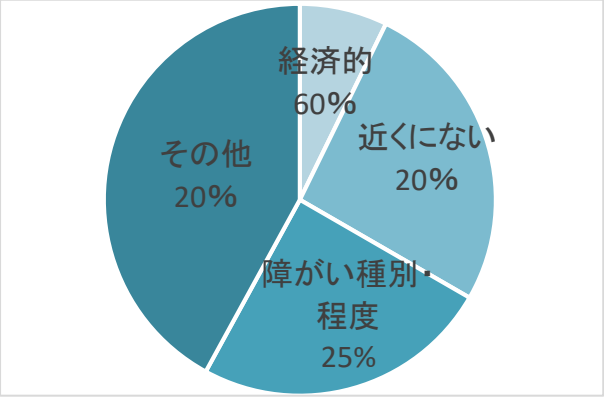
有	78
無	269
空白	14
合計	361

9. 入所希望時期



すぐ	52
1年以内	19
3年以内	43
5年以内	41
特に決めていない	204
空白	2
合計	361

すぐに希望しているができていない理由



経済的	5
近くにない	18
障がい種別・程度	17
その他	29
合計	69

【総評】

アンケート回答者のうち40%が今後グループホームへの入居を希望しており、そのうち入居希望時期は「すぐ」が52件、「1年以内」が19件、「3年以内」が43件であった。

上記の総数114人に回答率である87.25%を割り戻した約130人が、直近でグループホームへの入居を希望する人の人数と考えられる。

なお、グループホーム入居希望者のうち、年齢別では29歳以下が42%、30代が24%であり、若年層においてグループホームへの入居希望が多いことが確認できた。

また、障がい種別では知的障がいが61%であり、顕著な傾向が見られた。

すぐに入居を希望しているができていない理由について、「グループホームが不足しているから」という回答が多かったが、「障がいの内容によるため」、「医療的ケアが必要であるため」、「強度行動障がいを持っているため」、といった回答もあった。グループホームの整備を進める中で、そうした障がいにも対応したグループホームが一定数必要であると考え

（参考）自由記載の内容

「7　医療的ケアの要否」の「（1）必要」の主な内容

褥瘡（足）	座薬	身体全体のケア
血糖値測定、糖尿病　等	浣腸	訪問看護
導尿	てんかん　等	難病の服薬管理
喀痰吸引　等	パニック発作	バルーン交換
胃ろう　等	精神ケア　等	
酸素吸入　等	入浴時介護、声かけ	

「9　入居を希望する時期

（1）すぐにでも入居したい（入居できない理由）　」

「C　障がいの種別や程度によるもの」の主な理由

・車いすで入居できる施設が吹田市内にない。発作もあるため職員専門性も必要。看護師も必要。

・弟も離れており、認知症のような症状で体の負担が多い。

・本人の特性に合ったGHがない。

・医療的ケアを安全に実施できる施設があればすぐにでも入居したいが今は全くない。

・てんかん発作があり敬遠される。区分が高い。

・大声や飛び跳ねに適応するものがない。

・重度重複障がいのためなかなか入れない。

・行動障害が激しく、受け入れてもらえるところがない。

・医療機関併設型のグループホームを作ってほしい。

・コロナのため。

・グループホームの申し込みが来ない。

・子どもが快適に暮らせるところを見つけたい。

・本人の気持ちの受入れが難しい為。

・複数の人と合わせられるか不安。

「D　その他」の主な理由

・空きがない。

・いいところがない、

・安心して任せられるグループホームがない。

・入居できるところがない。グループホームの数が少ない。

・体験入所として利用はしているが、月の利用者が限られている。

・現在待機中。親亡き後助けてほしい。

・キーパーさん3人に1人は必要、5人に1人は難しい。

・部屋を片ずけられない。

・親からの独立を本人が嫌がる。

・保護者が高齢や病気等の為。

・親が高齢のため親も同時入居したい。

・迷っている。

・完全な個室でないと生活が続かない、1人で通所できないので作業所も変わらなければいけない。